

# 浄泉寺通信

第2号  
年4回発行  
浄土真宗本願寺派  
吉見布教所浄泉寺  
埼玉県比企郡吉見町  
久保田40-1  
発行責任者 福井学誠

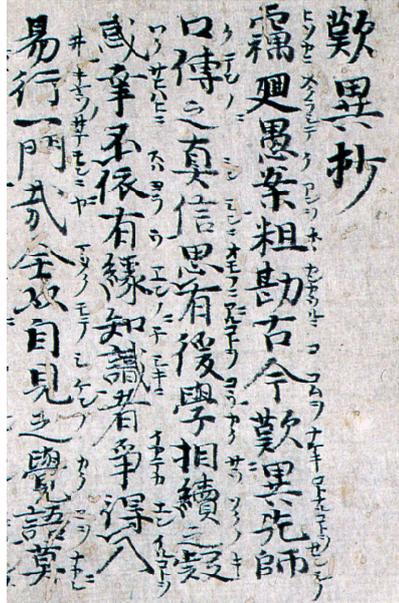
数多い仏教書のなかでひとときを異彩を放つ『歎異抄』。

「いづれの行も及びがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし」「善人なをもて往生をとぐ。いはんや悪人をや」といった親鸞聖人のお言葉のなかに、混乱の時代を生きる真の教えを学びませんか。はじめての方でも分かりやすい講座です。この講座は吉見布教所浄泉寺が主

催、講師に築地本願寺から西光義秀師をお招きし、10月21日を第1回に、毎月第3金曜日の夜7時から、会場はフレサよしみ(吉見町民会館、埼玉県比企郡吉見町大字中新井508)で毎月1回します。

## 歎異抄講座開催へ

『歎異抄』は親鸞聖人の言葉を弟子の唯円がまとめたものとして知られ、私も中学生の頃に読みましたが、難解な文章に途中で断念した苦い経験



重要文化財 蓮如筆(西本願寺蔵)

がありま す。それから何度か目を通しました。人生を生きていく羅針盤といたたく

## 毎月第3金曜夜7時

葉に触れてみようとしてみることです。それが『歎異抄』の読み方として大切なことだと思っております。今回の講座は受講無料、どなたでもまた一度だけの参加でも可能です。会場準備の都合上、できる限り事前に浄泉寺までお電話で参加を申し込みください。(文責 福井)

にはほど遠い読み方だったと反省し、私自身まだまだ学びたいとの思いで講師の西光師に相談した、というのが今開催の発端です。西光師は奈良県万行寺の住職、現在は東京・中央区の築地本願寺に奉職される学僧でもあります。西光師の言葉を借りれば「『歎異抄』に出てくる親鸞聖人のお言葉は、聖人の晩年のもの。一度二度読んでいただけでは理解しえない言葉の重みと深さがあります。ではこの書物は私が読めるようなものではないとあきらめるのではなく、何度もうくり返してそのお言葉に

## 年年歳歳

■年末近くになると年賀欠礼の葉書が届きます。「喪中につき、新年のご挨拶を欠礼いたします」。浄土真宗で喪中という言葉が適切かどうかということでは置きますが、近親者を亡くした年に新年を祝う言葉は出にくい、また近親者を亡くされた方に年賀状を出しづらい、こういったことは往々にしてあります。■年賀状を出さず、寒中見舞いを出すという方もいらっしゃるでしょうが、浄土真宗の先輩方はこれまでどのようなされてきたのでしょうか。私が今までいただいた年賀状のなかに「昨年七月、母、前坊守がめでたく往生の素懐をとげました」といったものがありました。また、「あけまして南無阿弥陀仏」「父を亡くして大変寂しいお正月ですが、お念仏のよろこびのなかで新しい年を迎え、今年もお念仏をよろこぶ、お念仏をひろめる精進をさせていただきます」

といったものもありました。南無阿弥陀仏よりおめでたい言葉はありませんから、年賀状を送る相手が喪中であるかどうかにかかわらず、南無阿弥陀仏を年賀の挨拶として送るとのことです。浄土真宗の深い味わいが個性ある文面に感じられますが、誰もが使える年賀の挨拶とは言えないでしょう。■しかし、ここで思い出されるのが、蓮如上人が門下の道徳(みちのり)に対し、「道徳はいくつになろうぞ、道徳念仏申さるべし」(『御一代記聞書』)と語ったエピソードです。正月に年齢を一つ増やす数え年の時代背景もありますが、ここにはお正月にこそお念仏をとという他に類例をみない浄土真宗の風土が感じられます。■浄土真宗の先輩方は阿弥陀如来の不可思議な願力によって「めでたく往生する」世界を味わってこられました。深い悲しみに寂しく新年を迎えている方にこそ、年頭の励ましが必要ではないだろうかと思えます。(福)

宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、わたくしのいのちすべてを阿弥陀如来にまかせて生きる他力の教えを聞く法要です。お誘い合わせしてお参りください。

本年は親鸞聖人がお亡くなりになって749年にあたります。来年1月16日が御正當と云って、お亡くなりになって

### 親鸞聖人 報恩講

10月15日(土) 14時

吉見布教所浄泉寺(駐車場数台)

法話 福井学誠(住職)

法要後に地元で有名なお団子を、ご一緒にいただきますよう



### 吉見布教所浄泉寺坊守を

紹介します!

福井 桂(37)

中国留学で身に着けた語学力を生かし、通訳業や上海のアパレル業界で営業畑をこれまで歩んできましたが、出産を機に退社、現在は吉

起床後すぐのヨガが日課。「ひとりになれる貴重な時間」。吉見布教所浄泉寺の住職である夫との間に一女。

見布教所浄泉寺を切り盛りしています。生まれ育った神奈川県川崎市から埼玉県比企郡吉見町へ。生活環境も大きく変わり、初めてのお寺の運営で戸惑うことも。幼い頃から体を動かすことが大好きで、ダンスは大学卒業まで続けました。好きなものにとことんのめりこむ性格で、妊娠中の体重コントロールを兼ねて始めたヨガは、インストラクター資格を取るまでに。知人に誘われ今月から月2回、埼玉県川越市の畳店2階をお借りしてヨガレッスンを始めます。初めての方も是非!

去る8月11日の「東日本大震災物故者初盆法要並びに手籠盆会法要」に、遠近各地から4名のご参拝をいただきました。震災では一万五千もの方が亡くなられ、人の世のはかなさ、命の尊さを感じずにはおれません。懇志一万八千円は全額、東京教区災害対策委員会に義援金として納めましたこと、ご報告いたします。さて、年始にかけての活動をご案内します。お誘いあわせてお参りください。

合唱「音御堂」 出演

11月10日(木) 10時半

豊で和ヨガ(川越市)

11月17日(木) 18時半

劇団希望舞台公演「釈迦内転」(埼玉県東松山市) チケット有

11月24日(木) 10時半

豊で和ヨガ(川越市)

11月25日(金) 19時

はじめての歎異抄講座(第2回)

フレスヤしみ(吉見町)

12月8日(木) 10時半

豊で和ヨガ(川越市)

12月16日(金) 19時

はじめての歎異抄講座(第3回)

フレスヤしみ(吉見町)

12月22日(木) 10時半

豊で和ヨガ(川越市)

12月24日(土) 14時

大御身御本尊の御身拭い・おみがき御仏具の掃除(吉見布教所浄泉寺)

12月31日(土) 16時

東日本大震災物故者追悼法要並びに除夜会(吉見布教所浄泉寺)

1月1日(日) 7時

元日会(吉見布教所浄泉寺)

10月31日(月) 13時  
合唱練習(吉見布教所浄泉寺)  
11月8日(火)  
京都・西本願寺参拝

親鸞聖人750回大遠忌法要

詳しくは、お寺まで。TEL 049 3548803